

第 17 回選定委員会議事概要
(第 28 回物質・生命科学実験施設利用委員会との合同開催)

1. 日 時 : 平成 30 年 2 月 7 日 (水) 10 : 30 ~ 12 : 30
2. 場 所 : TKP ガーデンシティ PREMIUM 京橋 22 階 ホール 22C
3. 出席者 : [委員] 家 泰弘 (委員長)、秋光 純、鬼柳善明、柴山充弘、杉山 純、杉山正明、
岸本浩通、常行真司
(出席者 8 名 (定足数 7 名) のため委員会は成立。)
[オブザーバー] 大榎直樹、鬼柳亮嗣 (文部科学省)
横溝英明 (総合科学研究機構)
金谷利治、瀬戸秀紀、二川正敏 (物質・生命科学実験施設)
[事務局] 佐藤淳一、太田淳子、浅井利紀

(以上、敬称略)
4. 議事次第 :
 1. 開会 10 : 30-10 : 40 (10 分)
 - (1) 開会の挨拶 J-PARC センター センター長 齊藤 直人 (J&C)
文部科学省量子研究推進室 室長 西山 崇志 氏 (J&C)
 - (2) 前回議事録の確認と前回の議論についての施設での検討結果の報告 (J,C)
 2. 審議事項 10 : 40-11 : 30 (50 分) (J&C)
 - (1) 2018A 期課題審査について (J&C)
 - (2) 2018B 期の募集課題について (J&C)
 - (3) 平成 29 年度中性子実験装置中間評価について (J)
 3. 報告事項 11 : 30-12 : 25 (55 分)
 - (1) 施設利用・共同利用に関する報告 (J&C)
 - (2) ミュオン実験装置部会報告 (J)
 - (3) MLF 報告 (J&C)
 4. その他・事務連絡・閉会 12 : 25-12 : 30 (5 分) (J&C)
 - (1) 意見交換
 - (2) 次回の開催について
 - (3) 閉会の挨拶

但し、選定委員会の議事は C、物質・生命科学実験施設利用委員会 (以下、MLF 施設利用委員会という。) の議事は J と記載した。

この議事録は上記議事次第に(C)及び (J,C ; 同一議事題名だが分けて審議) (J&C ; 同一議事題名で合同での説明、意見交換) と記載した議事のみを対象としている。

5. 配布資料リスト :

資料 1-1	第 27 回物質・生命科学実験施設利用委員会議事録 (案)
資料 1-2	第 16 回選定委員会議事概要 (案)
資料 1-3	前回の委員会の議論についての施設での検討結果

資料 2-1	2018A 期課題審査まとめ
資料 2-2	2018B 期課題公募・審査方針（案）
資料 2-3	平成 29 年度中性子実験装置中間評価に関する審議結果（答申）
資料 3-1-1	JAEA&CROSS 諮問委員会報告
資料 3-1-2	中性子 PAC 報告
資料 3-1-3	ミュオン PAC 報告
資料 3-2	ミュオン実験装置部会報告
資料 3-3	MLF 報告
別冊資料 1	2018A 期課題審査詳細
別冊資料 2	中性子課題審査部会/利用研究課題審査委員会報告
別冊資料 3	ミュオン課題審査部会報告
回収資料 1	2018A 期中性子一般課題（短期）審査結果一覧表
回収資料 2	2018A 期ミュオン一般課題（短期）審査結果一覧表
参考資料 1	2018A 期中性子分科会 Minutes
参考資料 2	2018A 期ミュオン課題審査部会、分科会 Minutes
参考資料 3	2018B 期一般課題（短期）公募要領（案）
参考資料 4	中性子実験装置部会分科会中間評価報告書
参考資料 5	JAEA&CROSS 諮問委員会諮問内容一回答案

6. 議事概要

6-1 開会の挨拶

- (1) 家 選定委員会委員長、杉山 MLF 施設利用委員会副委員長（選定委員会委員）、齊藤 J-PARC センター長より開会の挨拶があった。また MLF 施設利用委員会については山口委員長が欠席のため杉山副委員長が進行を務める旨の報告があった。
- (2) 本委員会の最後に、スケジュールの都合で到着が遅れていた大榎量研室長補佐より、今回 1MW 運転に向けて活動されているとの報告について大変うれしく思う、大型施設の活動についても省内外で評価を得ており予算計上にも反映されている、平成 30 年 1 月に林文部科学大臣が ESS を視察され中性子施設の重要性を理解していただけている、との挨拶があった。
- (3) 前回の選定委員会議事概要の確認
家委員長より、資料 1-2 の前回議事録について、既に内容はメールで回覧されているためコメントがあれば会議終了までに申し出るよう説明があった。
- (4) 前回の議論についての施設での検討結果の報告
瀬戸 MLF 副ディビジョン長より、資料 1-3 に基づき前回の選定委員会で施設側の検討事項となっていた項目について検討結果の報告があった。
また、メールインサービスの現状について、以下の質疑応答があった。

【質疑応答概要】

- ・メールインサービスの現状はどのようになっているか？
- メールインサービスの名称を「Fast Track Proposal (FTP)」とした。現時点で BL08 に既に申請が来ている。マシンタイムについては一般課題の採択課題を優先し、空き時間で FTP 課題を実施する。

6-2 審議事項

(1) 2018A の課題審査について

1) 瀬戸 MLF 副ディビジョン長より、資料 2-1、別冊資料 1 に基づき、2018A の一般課題（短期）の申請状況、審査結果の概要について報告があった。引き続き杉山 施設利用委員会副委員長より、回収資料 1 に基づき、中性子課題審査部会／利用研究課題審査部会の審査結果について報告があり、2018A の採否の結果については利用研究課題審査委員会の提案通りで承認された。

なお、共用 BL の一般課題（短期）及び新利用者支援課題の採否の内訳は、申請数 127 件、採択数 81 件（採択率 64%）であった。（MLF 全体（一般課題（短期）、新利用者支援課題、非公開課題及びミュオン P 型課題）では、申請数 287 件に対して採択数 203 件（採択率 71%）であった）

2) 杉山 施設利用委員会副委員長より、別冊資料 2 に基づき、2018A の中性子課題審査部会／利用研究課題審査部会および分科会の体制変更、審査内容について報告があった。

3) 別冊資料 2 の「同じ課題の申請への対応の検討」について議論があった。

中性子課題審査部会／利用研究課題審査委員会からの、「同じサンプルを測定するほぼ同じ研究内容の申請が別グループから提出されたため、詳細を伏せた上で協力して実施する意思があるかを確認し、共同で実験するよう推奨する」という提案に対し、施設利用委員会／選定委員会では、

- ・採択の結果（両方の課題を採択とするか、点数の高い方のみ採択とするか？）
- ・実施の方法（それぞれの課題を個別に実施させるか？一緒に実施させるか？）
- ・一緒に実施させる場合の PI への打診方法（双方の情報を開示して打診をするか？）

について議論した。

【結論】 今後についてはもっと議論が必要である。今回については、まず相手の名前・所属先を知らせずに合同での実験実施を打診することとなった。

(2) 2018B 期の募集課題について

1) 瀬戸 MLF 副ディビジョン長より、資料 2-2、参考資料 3 に基づき、2018B 期の課題募集・審査方針について説明があり、資料 2-2 の内容で承認された。

また、川北 中性子利用セクションサブリーダーより、2018B の長期課題について、現在課題公募中である旨の報告があった。

2) 資料 2-2 の「2018B から大学院学生が課題申請者となる課題も受け入れる」について、質疑応答があった。

【質疑応答概要】

- ・申請者となる大学院生について、修士・博士課程を問わないという理解で良いか？
→修士課程、博士課程は問わない。

6-3 報告事項

(1) 施設利用・共用利用に関する報告

1) 資料 3-1-1 に基づき、川北 中性子利用セクションサブリーダーより、2018 年度に実施予定の JAEA 装置グループ課題、プロジェクト課題について、また鈴木委員より CROSS 開発課題について、それぞれ諮問の概要とマシントイムの報告があった。

(2) MLF 報告

- 1) 金谷 MLF ディビジョン長より、資料 3-3 に基づき、MLF の現状について報告が行われ、以下の質疑応答があった。

【質疑応答概要】

- ・現在のターゲットは安定して稼働しているとのことだが 600kw までのポテンシャルを持っているのか？
→計算上は 700kw まで対応可能である。
- ・夏からは 500kw で運転し最終的には 1MW まで目指すのか？
→1MW までは様子を見ながらすすめる。

6-4 その他、事務連絡、閉会

(1) 意見交換

会議内で十分議論されたため特に意見は無かった。

(2) 次回の開催について

瀬戸 MLF 副ディビジョン長より、次回 (2018B の課題) は平成 30 年夏に開催を予定しているとの報告があった。

(3) 閉会の挨拶

横溝 CROSS 中性子科学センター長から閉会の挨拶があった。

以上